



「えんどう のりおです」という独特的の語り口で、今やおだがいさまFM人気のコーナー「ノリオさんの昔話」にレギュラーで出演されています。60代70代の人間が何を次の世代に残せるか…自分が郷土の話をしてみつか」と思ってくれる人が増えればいいと思い、取材にもFM録音にも協力しています。震災後、田村、須賀川、福島と県内を転々とし昨年6月に喜多方へ引っ越しました。ノリオさんが、大切にしている言葉は「報徳至誠」。知らない土地で受けた恩は出来ることで返していく。コミュニケーションの基本も「受けたものは返す」の姿勢だと話してくれました。喜多方のサロンも大家さんが無償提供してくれたもの。すると次々にコピーも書籍も寄付してくれる人が現れ「何かやることはない?」と声をかけてくれる方々が…大家さんとのつながりから開設したサロンが新しいコミュニティの基点となっていますが、一方で、地区の清掃作業などは必ず参加します。「いつまでも避難者だという感覚でない方がいい」「ここで暮らしていくんだから、ここの人間だと前向きに考えた方がいい」と笑いながら話していました。もちろん、今まで何十年も共に生きてきた集落の人たちへの思いは決して消えません…「ここで生まれてここで死んでいく」と思って生きてきたし「人ととの結びつき」と「絆を深める」とか考えなくとも、当たり前に一緒に暮らしてきた…ノリオさんはそれを「心のDNA」と表現しました。「心のDNA」でつながっている集落の人たちとはいつまでも繋がっていて、その思い入れを大切にしながら、新しい繋がりも作っていく…簡単なことではありませんが、ノリオさんは、「人に優しくする」「足引っ張らずに手引っ張ること」と笑顔で話します。ノリオさんの話は暖かくて深くて…喜多方のサロンで時間を忘れて聞きいてしまいました。

おらほの自治会長

このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。
柴原萩久保応急仮設住宅自治会長 遠藤 富次郎さん



震災前は、福島第2原発で働く従業員を送迎するバスの運転手をしていた遠藤さん。震災後、川内村に避難した後、群馬、東京と避難してきました。しかし、一緒に避難している親のことを思い、知り合いのいる福島県に戻ることを決意。矢吹の避難所で4ヶ月すごした後、昨年8月に萩久保仮設に入りました。昨年9月の自治会発足当時から会長を務めている遠藤さん。昨年と比べて「全てのことに対する自分たちで何とかしようという思いに変わってきていた」と住民のみなさんの変化を感じています。

その変化の中で時に、思いがぶつかってしまうこともあります。そんな時は「何とかうまくやっていこう」と声を掛けながら、住民のみなさんが輪に入れるように心がけています。「ここにいる生活がいい思い出となるような付き合いをしていきたい」そんな思いで、遠藤さんは今日も生活しています。



富岡町生活復興支援おだがいさまセンター

(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内) 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)
電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334 ブログ http://odagaisama.com/ ツイッター http://twitter.com/odagaisama



いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー

内 容 健康相談会

日 時 10月24日(水)午後1時30分～3時30分
開催場所 「富岡町さくらサロン」(福島市泉字泉川15-7)
主 催 福島市及び県北地区在住富岡町民自治会
お問い合わせ TEL 024-557-8780

喫茶つづじ 主催: おだがいさまセンター

●おだがいさまセンター ●南1丁目応急仮設集会所(富岡側)

10月27日・ 10月27日・30日・

11月1日・3日・8日 11月3日・5日・6日

●毎回午前10時～12時 ●毎回午前10時～午後1時

*みなさん気軽にお茶を飲みに来てください! (^-^)

いわき平交流サロン情報案内!

内 容 「FUKUSHIMA足湯隊による足湯」

日 時 10月28日(日)午前10時30分～午後12時
開催場所 富岡町生活復興支援センターいわき平交流サロン
主 催 おだがいさまセンター

★金剛山歌劇団2012公演のお知らせ★

東日本大震災復興支援・福島朝鮮初中級学校創立40周年記念行事として、「舞踊ミュージカル 春香伝」が公演されます。この公演の主催者より「富岡町民の皆様へ」と無料招待券をいただきました。是非、ご近所、お友達とお誘い合わせの上、ご来場ください。

日 時 平成24年11月8日(木)開場 午後6時 開演 午後6時30分
会 場 郡山市民文化センター(大ホール)

チケット 富岡町役場郡山事務所総合窓口・三春出張所・
配布場所 大玉出張所・南一丁目応急仮設住宅集会所
緑ヶ丘東七丁目応急仮設住宅集会所

富田町若宮前応急仮設住宅集会所

ふくしま絆カフェ富岡

主 催 金剛山歌劇団福島県公演実行委員会
お問い合わせ TEL 024-922-3554

*ご来場の際は公共の交通機関またはタクシーをご利用ください。尚、チケットがなくても、会場が満席になつていなければ、無料でご覧になれます。

みんなの広場

このコーナーでは、町民のみなさんの詩、俳句、短歌、写真、手作り品などの作品を紹介します♪



8月27日(月)に行われた県生涯学習講座の「故郷の焼き物を造ろう!」で大堀焼の小野田利治先生の指導の下、作っていた焼き物が出来上がりました。当時の参加者は出来上がった作品を見ながら「良く出来ているねえ～自分が作ったものとは思えない!」と自画自賛していました。

めてやっぺ!

いわき平交流サロン開所!



開所式に出席された皆さん

いわき平交流サロン開所式



準備風景

これまで町では町民の生活支援やコミュニティ支援を図るため、郡山市に「おだがいさまセンター」と「ふくしま絆カフェ富岡」が、福島市には「富岡町さくらサロン」を設置しています。しかしながら、約5300人の富岡町民の方々が避難されているいわき地区には設置されておらず、早期の開設を望む声が高まっています。

今回オープンした「いわき平交流サロン」は、イオンいわき店の西隣にある建屋で、1階に広々としたサロン、2階は個室となっており、これから様々なアイディアにより楽しい交流拠点になることが期待されます。おだがいさまセンターも避難所生活の時から積み重ねてきた経験と全国の支援団体と培ってきたネットワークを活かしながら、平交流サロンをはじめ今後各地域に開設されるサロンと連携し、生活復興支援に取り組んでいきたいと思いを新たにしたところです。

当日は、遠藤町長の主催者挨拶に続き、宮本議会議長、いわき地区の住民団体「さくら会」「すみれ会」の会長さんから歓迎の挨拶をいただき、またテープカットのあとに内覧会が行われました。この開所式には、多数の町会議員のみなさんやいわき市社会福祉協議会、地元町内会からも参加をいた

だいており、今後のサロンの利用方法や地域との交流の大切さなどが話し合われました。現在スタッフは4名ですが「笑顔で皆さんをお待ちしております」とのことですので、さっそく訪れてみてはいかがでしょうか。

(※スタッフ名前: 清水章子、山口ミツノ、西山さとみ、上坂和子)



富岡町生活復興支援センターいわき平交流サロン

場 所 〒970-8026 いわき市平字新田前6-10(イオンSC近く)
営業時間 10:00～17:00 (当分の間、土・日・祝日休み)
連絡先 050-3608-2864



鎌郷小学校児童との交流会

9月21日(金)に新潟市にある「鎌郷小学校」へ行ってきました。鎌郷小学校の子どもたちは「お米の支援」「募金活動」「新潟縦跳りに招待」と富岡町民を応援し続けてくれています。子どもたちの温かい気持ちに少しでも恩返しができたらと…体験学習の稻刈りのお手伝いに出かけました。

しかし、朝からの大雨で稻刈りは中止。残念な気持ちではありますましたが子どもたちと「福島県クイズ」「富岡町のいいとこビンゴゲーム」「給食」などの交流を楽しみました。

FM便り

～パーソナリティ紹介～ 藤原一裕さん・鈴木美伸さん

「おだがいさまラジオランド」(周波数76.9MHz、毎週月曜日～金曜日の午後7時～9時に生放送)木曜日担当の藤原一裕さんと鈴木 美伸さん。藤原さんは「ふくしまFM」でパーソナリティとして、鈴木さんは「福島中央テレビ」の

藤原さんコメント
気軽に「カズ」って呼んでください!みなさんからのメッセージお待ちしています!

**鈴木さんコメント**

郵便 T963-8041 郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛 / FAX 024-935-3334
メール 右記「おだがいさまFM」HP内のメールフォームより送ってください / 「おだがいさまFM」HPアドレス <http://odfm.net/>

藍染め、染め工程



仕上かった手ぬぐい

**おだがいさまファーム通信**

今回初めて自主研修で、染め(藍染め)を行いました。講師不在の中で、自分達だけで行う作業はハードルが高く、とても不安な状態からのスタートでした。絞りのやり方などを本を参考に、みんなで一つ一つ工程を確認しながら染め上げたわけですが、それぞれ知恵を絞っての完成品!初めてにしては出来ではないでしょうか!?出来上がった手ぬぐいをご覧ください。

住民力アップ講座締めくくり *topics!*

「地域再生のための住民力アップ講座」の締めくくりとなる5回目・6回目が「おだがいさまセンター」で開催されました。この住民力アップ講座は、県生涯学習課主催で富岡町の区長、各避難先での自治会長、連絡員を対象に、今年6月から全6回構成で開催してきたものです。9月20日(木)の5回目は、講師に「中越防災安全推進機構復興デザインセンター」センター長の稻垣文彦さんを講師に迎え、前回4回目に中越地方を視察したことを見て、より詳しく復興の道筋を講義していただきました。9月27日(木)の6回目は、「富岡町生活復興支援おだがいさまセンター」センター長の天野和彦が講師をつとめました。復興への道のりを、「ショートゴール」(現在の生活をどのように支援するかを考える)と「ロングゴール」(今後どのように帰還していくかを考える)を2つに分けて考えていくことが重要であるということを中心に講座が進められました。住民力アップ講座は、震災から復興していくために、町民の中で核となる人に学んでいただくために開催してきました。しかし、それそれ現在の生活や仕事の都合で時間を取ることが難しいことや、会場まで離れたところに住んでいるために参加が難しいことなど、様々な理由で参加者が少なく、残念な面もありました。このような機会を今後も提供していきたいと考えています。その時はまた「みでやっけ！」でもお知らせしていきますので、是非ご参加ください。



5回目開催の様子

「ゴジてれChu!」という番組のリポーターとして、ご活躍されるほか、お二人とも様々なイベントでMCのお仕事もされています。「カズさん」「ミノブさん」の愛称でリスナーのみなさんから親しまれているお二人。放送では、お笑い芸人に決して引けをとらない!?とても楽しいお話で、みなさんに笑顔を届けてくれています。

相方のDJカズさんに、おんぶに抱っこ状態の鈴木です。番組を通して、リスナーの皆さんに一瞬でも元気になつて頂ければ嬉しく思います。よろしくお願ひします!

郵便 T963-8041 郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛 / FAX 024-935-3334
メール 右記「おだがいさまFM」HP内のメールフォームより送ってください / 「おだがいさまFM」HPアドレス <http://odfm.net/>



カラオケ歌合戦 予選会開催

9月から10月上旬にかけて、玉露応急仮設住宅・富田応急仮設住宅・安達太良応急仮設住宅(大玉)・南一丁目応急仮設住宅(あさかの杜ゆふね)の4ヶ所で、ラジオ福島主催「福島県応急仮設住宅 カラオケ歌合戦」の予選会が行われました。予選会に出場したみなさんが十八番の曲をプロ顔負けの歌で披露すると、会場に駆け付けた観客から拍手や歓声が上がり、各会場白熱した予選会となりました。4ヶ所の予選会上位2名、合計8名の方が、10月20日(土)福島市の「パルセいいざか」で行われる本戦に出場します。本戦では、県内10ヶ所の仮設住宅の予選会を勝ち抜いた方々と優勝を争います。優勝を目指して頑張ってください!



学生ボランティアと交流しました

9月16日(火)、三春の里応急仮設住宅で、福島と京都の学生ボランティア8名による、足湯やハンドマッサージ、京都の千代紙とお香袋で「折紙匂い香」作り教室、京菓子とお抹茶のおもてなしが行われました。参加した住民のみなさんは、京都の香りに包まれて、ボランティアと一緒に手を動かしながら匂い香を沢山作っていました。材料を持ち帰って「孫と一緒に作る」という方もいて、みなさん大満足のご様子。夜はボランティアが宿泊する隣接のコテージのテッキで、一緒に作った浪江焼そばや住民のみなさんが家から持ち寄ったお惣菜などを食べながら、みなさんが楽しいひと時を過ごしていました。



音無美紀子さんが訪問してくれました♪

9月29日(土)、女優の音無美紀子さんが富田仮設と南一丁目仮設を訪問されました。これは、9月30日(日)に郡山市の郡山ビューホテルアルネックスで「ヒューマン・ケア心の絆プロジェクト2012」というイベントが開催され、「市民医療シンポジウム」と「健康相談会」の催しの中で、お楽しみアトラクションとして「歌声喫茶」を開くために郡山においてになりました。富田仮設では、住民の皆さんと「赤いリンゴ」や「青い山脈」などの懐かしい歌と一緒に唄ったり、写真撮影をしてくれました。ひとりひとりの顔を見ながら優しい笑顔で接して下さる音無さんの姿に、みなさん大感激でした。



大会参加者集合写真、左



借り上げグランドゴルフ大会

10月3日(水)、三春にある富岡町の小・中学校のグラウンドで、郡山方部借り上げ居住者会主催のグランドゴルフ大会が行われました。約80名の参加で、12チームに分かれゲームを行いました。小雨の中の開催でしたが、ゲーム中ホールインワンが出たり、惜しくも玉が入らなかったりという場面では「ナイス!」「惜しい～！」などの歓声が上がり大変盛り上がっていました。

福島県不動産フェア

9月30日(日)、イトヨーカドー郡山店にて「第29回福島県不動産フェア」が開催されました。その中で行われたサテライト講演会では、緑ヶ丘仮設自治会長の北崎一六さんが「仮設住宅の現状」と題し、富岡町の現状や仮設住宅の暮らしについてお話しされました。お話を聞きに来られた方々は、北崎会長の冗談を交えたお話を笑ったり、時には真剣な表情でうなずきながら聞き入っていました。9月23日(日)、この講演会の主催である福島県宅地建物取引業協会郡山支部様より、おだがいさまセンターにテントを寄贈していただきました。イベント等で有効に使わせていただきます。ありがとうございました。



寄贈していただきたいテント